



学校だより

みなみすな

令和8年度 9月号
令和8年9月1日
江東区立南砂小学校
校長 石川 千影

「一番の相談相手は？」

校長 石川 千影

今年から夏休みが8月末までになり、こどもたちは、たっぷりと夏休みを満喫したと思います。前期後半も「みんな 元気な みなみすな」をモットーに、こどもたちが、再び学校生活のリズムで元気に過ごせるようサポートしていきます。引き続き『チーム南砂小』で、誰もが安心して通える、毎日が楽しい安心安全な学校になるように、努力してまいります。おこさまの様子など、少しでもご心配なことがありましたら、いつでも遠慮無くご相談ください。

さて、インターネットの普及により、便利なものが増えてきました。携帯電話もどんどん進化しており、いつでもどこでも、簡単に世界中とつながることができる時代になっています。最近では、生成AIの進化が日進月歩の勢いで進み、時間が掛かっていた仕事もAIがあつという間にこなしてしまいます。現在、江東区では児童・生徒も生成AIを活用できる環境が整えられています。教員も授業準備等で活用しています。今まで無かった便利なツールが開発され、日々改善され、それをいかに取り入れ、有効活用していくかが、問われているように思います。

ある日新聞で、生身の人間に相談するよりも、AI に相談したいという人も出てきているという記事を読みました。日頃からAIに相談していると、その人に応じた期待されている答えを出してくれることでしょう。そして、決して否定することなく、親身になって話を聞いてくれるので、一番頼りになる相談相手とを感じる人もいと知り、大変驚きました。

実際自分専用のスマートフォンを持たせてもらっている小学生も、増加している現状もあります。学校にいるとき以外は、片時も手放せない、と感じている子もいるかもしれません。SNS の利用について年齢制限をかける国もあります。ネットで得られる情報には有意義な内容もあります。しかし、心も身体も成長過程にある小学生に適切かどうか、判断に迷うような内容も含まれているかもしれません。情報過多で、それが正しい情報であるかどうか、大人でさえ判断に迷うくらい、雑多な情報があふれているのです。心と身体がバランスよく成長していく過程において、何らかの影響があるだろうと心配してしまいます。

どんなに便利な道具が出てきても、一番の相談相手は、「人」であってほしいと思います。他人とのコミュニケーションは、決して簡単ではありません。しかし困難を乗り越えていく中で、たくさん考えて、成長していくのです。友だち同士で励まし合ったり、喜び合ったりして、支え合うことがあります。ときには失敗をしても、失敗から学ぶことは、その人を成長させ、より豊かな人生になっていくことでしょう。南砂小学校が、いつでも誰とでも安心できるコミュニケーションができる、心と心が通じ合う安全基地の一つでありたいと、心から願います。

学習用端末を、よりよく活用するために

情報主任

今年度から学習用端末が新しくなり、こどもたちもこの4か月で慣れてきました。機能を使いこなすことも大切ですが、正しく安全に活用することも同じように大切です。端末とともに「南砂小学校学習用端末活用ルール」をお配りしています。昨年度、こどもたちが話し合って考えたものを反映したルールです。大人が決めた決まりを守らせるのではなく、自分で決めたことを自分で守ろうとする。その積み重ねが、情報モラルを育てていきます。

ルールには、ご家庭で話し合って書き込んでいただいた欄がありました。夏休みが明けた今、もう一度ご家族で見直していただければ幸いです。

また5月から、こどもたちが生成AIを学習に活用できるようになりました。生成AIは「次に来そうな言葉」を選んで文章をつくる仕組みで、人が考えて答えているように見えても、答えているのは仕組みです。学校では、この性質を知った上で、学習の近道をする道具としてではなく、学びに寄り添う伴走者として活用できるよう支援してまいります。

引き続きご理解とご協力をお願いいたします。